

# E26 CARAVAN

シンプルシャコタン!  
手数は控えめ、それがまたヨシ!



小径の深リムホイールとムッチリタイヤを組み合わせ、オーバーフェンダーに放り込む。昭和から今に伝わる改造車の美学にのっつた生足シャコタンが、実にキマッた菊池号。ホワイトレターも実にお似合いで、アイラインとリップと手数控えめなところもまたヨシ!

低くてもキッチリ踏める  
走れるシャコタンに!



26歳SBM初参戦の星サン。キャラバンは、スムージングしてスックリさせたベリヴァリアントのフルバンパーがアイキャッチ。ヘッドライトカバーは、自ら加工しイベント開催2日前に塗り上げたシロモノだ。強化トーションバーやら、固めに調整したネオチェーンショックなど、サスや剛性アップパーツを駆使し「低いからこそ踏める」クルマ作りでこだわっている。

自作派元バンナーの  
サウンドクルーザー!



ラゲッジリアエンドにウォール・オブ・スピーカーがそびえ立つ生田(おいた)サン。キャラバンは、張り出しデザインのエアロから外向きオーディオまで驚きのハンドメイド!

エセックス・EFの18×9J IN28にホイールをイメチェンしてご参加のGRANDプレミアムGXは番長サンがオーナー。ボディラインのタイプSリップ専用のフラップタイプエアロ「エボリューション」を持って、スポーティムードをプラス。



ガルウイングドアキャラバンがあまりにも有名な越戸サンだが、今回はサラッと仕上げのキャラバンでご来場。しかし、ホイールにD.A.Dのギャルソン・バルディッシュを選ぶあたりには越戸イズムが垣間見える。



純正だとメッキのグリル周りやオーバーフェンダーをボディ同色のステルスグレーでまとめた佐藤号。ヘッドライトインナーのブラックアウトや、ボディラインのリップ、KBレーシング18インチで車中泊用のレジャーカーながらCOOLにキメる。



静岡県は浜松市からご来場の田中サン。フェガリーのデビルボンネットにCLSのチンスポ、ボディラインのサイドスポイラー&オパフェンなど、ブランドミックスでコーディネートしたGRANDプレミアムGXは、OS技研のデュアルコアNEOで走行安定性のアップデートも行っている。

1型DXベースを  
3型上級グレードルックに



1型ベースからグリルやヘッドライトの形状が違う純正GRANDプレミアムGX3型顔コンバージョンを行った石川サン。小ぶりなドアミラーはマウントを製作した一品で、ボディはパールを入れたグレーでオールペンを敢行。ホイールはエセックス・ENCsの18インチでフロントは9J、リアは9.5Jの太履き!

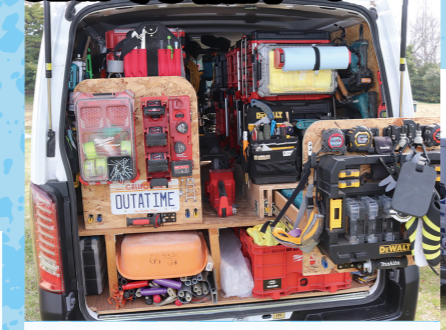


キャラバン・ライダーにワンオフのフロントスポイラーを装着したシンプル路線のエクステリアと打って変わって、赤×ブラックでまとめたド派手内装を隠し持つ明間(あけま)号。インパネ周りは植毛塗装で、レカロも赤黒デザインのSR-7をチョイスした。



オーバーフェンダーから景気よくハミ出したブロックタイヤを、チューブフェンダーに収めた本間号。このチューブフェンダーやヘルパーエアサスのマウントを作っちゃう自作マインドもお見事。チューブフェンダーはボディに極力穴を開けずに取り付け出来るのも◎!

スライドなしの  
ラッキング系荷室  
イケてる荷室オーナーが  
SBMでも増加中~!



棚組みの“ラッキング”系荷室にデウォルトのティースタックやタフシステムをスタッキングしたみなみサンのキャラバン。セカンドシートレスの2名乗車として登録済みで、スライド横までラックがキッリ。足元はCLSのTC01 16インチ×オパフェンでヤンチャ風!

クロームのMLJ・デイトナSSやヘッドライトのオレンジフィルムなどで、USテイストに仕上げた黒田サン。エンブレムをグリル同色にするなど細かなアレンジも光る。リアゲートを開けば仕事グルマとしての顔をのぞかせ、スライドラックの内側も物入れに使う徹底したスペース効率も見どころ。



200系ワイド用のギブソン製フロントバンパーを加工装着し、オンリーワンのワイドルックを獲得したヤスさん号。ボディカラーはBMW・M3のポストグリーンでオールペンし、ホイールはD.A.Dのディープレーシングをチョイス。

ゴルヴァレイのフルバンパーとギブソンのボンネットにシルクプレイズのサイドなど、異なるブランドのエアロを使ってまとめた木村号。パワーブレースによる剛性アップやショックの交換など、機能面のアップデートも抜かりナシ。

グイッと張り出すベリヴァリアントのスポイラーがお目立ちな石塚号。足元のエセックス・タイPESはスポークまでブラックアウトしているのも個性的だ。オーナーのこだわりはサウンド面のアップデートでフロント3ウェイ化を行っている。



ホイールをエセックス・ENCsに仕様変更してご来場の高師(たかもろ)サン。ルーフに2丁備えた塩ビ管に具材のパイプ類を収納するお仕事グルマで、ひと休みする場所を作るサイドオーニングも完備する。



アウトディのSUVのフォグ周りを移植したワンオフバンパーやフェンダーマーカーの追加で、ユーロテイストを漂わすまるちゃんサンのスーパーロング。ギランギランの大径の20インチディッシュ履きでの着地スタンスもお見事なり!

ワンオフグリルを製作し、200系ハイエース用のギブソン・グラファムグレンをキャラバンに加工流用する大技に加え、ダミーのインタークーラーでド派手レーシー路線にフィニッシュしたダイキチ号。インテリアは、ダイコックのスピーカーをインストールしたウーファーボックス兼用のキャビネットと、車中泊用のソファベッドをセットしRV的な仕上がり。



北嶋号はエセックスのハイエース用バンパー「プログレス」を2コイチしたフロントをはじめ、サイド、リアバンパー、オーバーフェンダーetc、ワンオフや自作加工のオンパレード! 天井のレザー張りやオーディオの光りモノもモチロン自作なのです!



月華會サンのスーパーロングは、ワンオフフロントバンパーやワンオフボンネットで構築したオンリーワンなエクステリアをブラック×ゴールドでカラーアレンジ。エアサスのユニットや外向きオーディオをインストールしたラゲッジの作りもお見事ッス。

